

学校だより

【第1号】令和7年4月18日発行

<群馬県立しらがね特別支援学校通信>



令和7年度スタート

群馬県立しらがね特別支援学校
校長 田中 健一

令和7年度が4月7日よりスタートしました。登校時に元気な生徒たちのあいさつを聞くことができました。新しい年度のスタートに生徒たちもワクワクしているようです。始業式では、生徒たちの笑顔を見ることができ、1年間頑張ろうという気持ちにさせてくれました。式の中では、「あいさつ・丁寧な言葉遣い」「仲良く」「最後まで」という言葉をもとに話をしました。朝のあいさつや保健室や職員室に入る際のあいさつ、先生など目上の人に対する言葉遣いに気をつけることや友達同士助け合い協力し合うこと、いろいろなことに途中であきらめず、最後まで取り組むことについて話をしました。

4月8日には高等部新1年生の入学式が行われました。新入生は緊張しながらも最後までしっかりと式に臨むことができました。落ち着いた式となりました。新しい学校や初めての人たちの中での式でしたので、不安もあったと思いますがよく頑張っていました。これから3年間目標をもって高等部の生活を過ごしていってほしいと思います。

さて、今年度は中学部5名、高等部に67名、全校児童生徒数72名という大人数でのスタートとなりました。大人数ですが、一人一人に応じた指導・支援を行い、将来の自立と社会参加に向けて一歩一歩着実に前へと歩みを進めていきたいと思っています。

保護者の皆様、学園の皆様には、今年度も本校の教育活動への御理解、御協力につきまして、どうぞよろしくお願い致します。



～入学おめでとうございます～

令和7年4月8日（火）に令和7年度入学式が行われ、高等部18名の新入生が入学しました。満開の桜の花が新入生のお祝いをしてきているようでした。

生徒達にとっては新しい学部や新しい学校で不安や緊張の中での入学式でしたが、立派な態度で式に臨むことができました。また新入生代表が「楽しく学校生活を過ごしていけるよう一生懸命頑張っていきます」と誓いの言葉を堂々と読み上げることができました。早く学校に慣れ、学校生活を楽しんでほしいと思います。

ようこそ「しらがね」へ！！



（学校長 式辞）



（新入生 誓いの言葉）